

令和元年度 第1回東京都保険者協議会保健活動部会 会議要旨
委員定数 12名

1 開催日時 令和元年6月24日 午後1時57分～午後3時50分

2 開催会場 東京区政会館20階会議室

3 出席者 【11名】

東京都担当部署	2名
全国健康保険協会東京支部代表	2名
健康保険組合代表	2名
国民健康保険の区市町村代表	2名
国民健康保険組合代表	1名
共済組合代表	1名
後期高齢者医療広域連合代表	1名

4 会議次第

○開 会

○議 題

- (1) 平成30年度 東京都保険者協議会保健活動部会事業報告
- (2) 令和元年度 東京都保険者協議会保健活動部会の取組について
- (3) 保険者協議会の協働の取組について
 - ① 促進月間におけるポスター等の選定
 - ② 都が実施するイベント等への後援グッズ検討
 - ③ 活用促進に向けた取組へのご意見
- (4) 令和元年度 保健事業に関する研修会について
- (5) 日本健康会議の2019年度における保険者協議会の達成要件（宣言3関係）について
- (6) その他

5 会議要旨

(事務局)

議題(1)「平成30年度東京都保険者協議会保健活動部会事業報告」

【資料1】を用いて説明

議題 (2) 「令和元年度 東京都保険者協議会保健活動部会の取組について」
【資料2、資料3】を用いて説明

議題 (3) 「保険者協議会の協働の取組について」

- ① 促進月間におけるポスター等の選定
- ② 都が実施するイベント等への後援グッズ検討
- ③ 活用促進に向けた取組へのご意見

【資料4-1～4-3】を用いて説明

(部会長)

促進月間におけるポスター等の選定は、事務局提案でよいか。

(健康保険組合を代表する副部会長)

乳がん月間のポスターは1種類だけか。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

担当の部署からはこの1枚のみの提案であることをご理解いただきたい。

(部会長)

促進月間のポスターについては、事務局提案どおりとする。

(事務局)

「都が実施するイベント等への後援グッズの検討について」

【資料4-1】の8ページ及び別添資料を用いて説明。

(部会長)

後援グッズ「T o k y o健康ウォーク (がん検診)」、「ピンクリボンin東京 (乳がん検診)」
について意見をいただきたい。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

「ピンクリボンin東京」において、ウエットティッシュは東京都で配布予定のため、選択肢
から外していただきたい。

(健康保険組合を代表する委員)

乳がん用のお風呂ポスターは使いやすいのか。また、クリアファイルは文字が多いと見ても
らえないという経験があり、企業の販促向きと思う。

(部会長)

事務局からウエットティッシュという提案があったが、それに対して意見をいただきたい。

(後期高齢者医療広域連合を代表する委員)

配られたものが簡単に捨てられたりしない使えるものがあるのではないか。ウエットティッ
シュ、絆創膏、ポケットティッシュ、ボールペンと蛍光ペンなどは、かばんの中に入れても邪
魔にならないと思う。

(部会長)

配布は、他の団体や東京都のものとセットされるのか。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

両方のイベントとも1つにまとめて配布すると聞いている。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

自分が受け取った場合、比較的長く目にするものは、ウエットティッシュやボールペンなど。
それ以外はどこかに紛れてしまうのでは。

(東京都担当部署を代表する委員)

イベントのグッズを配布したことがあり、ウエットティッシュは使い勝手がよく、何かの折
りに使われているのを目にした。絆創膏も、どこかの場面で使うこともあるのでいいと思う。

(部会長)

「T o k y o 健康ウォーク」で使うグッズとして、ウエットティッシュがいいと思われる方、
挙手をお願いしたい。 (賛成者挙手)

圧倒的多数で、ウエットティッシュに決定。

「ピンクリボンin東京」について、ご意見いただきたい。事務局から何か。

(事務局)

「ウエットティッシュ」が決定のため、予算として約46万でご検討いただきたい。

(部会長)

絆創膏かポケットティッシュ、この2つ多数決投票で、よろしいか。 (賛成者挙手) 5対5

(事務局)

絆創膏とポケットティッシュの印刷について説明。

(後期高齢者医療広域連合を代表する委員)

単純に金額だけ比較すると、ティッシュのほうが費用はかからないが、携帯性や予防的には絆創膏のほうがいいと思う。

(部会長)

改めて絆創膏かポケットティッシュか挙手をお願いしたい。 (賛成者挙手) 6対4

絆創膏に決定する。

では、絆創膏とウエットティッシュのメッセージについて「受けよう！がん検診」などの提案があるが、意見をいただきたい。

(東京都担当部署を代表する委員)

せっかくの機会なので、健康ウォークは、私も「がん検診」を入れたほうがいいと思う。

(健康保険組合を代表する副部会長)

オリジナルメッセージは、全部変えられるか。

(事務局)

全てコメント及びデザイン等も、変更が可能。

(部会長)

がん検診に関するメッセージを入れることで、部会で決定してよいか。
デザインは事務局で(案)を提供いただくことでよいか。

(事務局)

業者と調整した(案)を委員あてにメールするので確認していただきたい。

(部会長)

「T o k y o健康ウォーク」がウエットティッシュ、「ピンクリボンin東京」が絆創膏。デザインについては、改めて事務局(案)をメールで確認の上、決定したい。
活用促進に向けた取組への意見についても、同様にメールで頂戴したい。

(事務局)

議題(4)「令和元年度 保健事業に関する研修会について」
【資料5-1～5-4】を用いて説明

(東京都担当部署を代表する副部会長)

【資料5-5】を用いて説明

(部会長)

テーマ等について推薦いただいた委員から趣旨の説明をお願いしたい。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

「生活習慣病予防の行動変容理論」行動はどのように改善すればよいか理論的に学びたい。
「糖尿病の合併症について」鬱や認知症との関係。
「特定健診データを活用した心筋梗塞、脳梗塞の予防について」保険者として特定健診の結果をどう生かしたらよいかなど講義を聞きたい。

(東京都担当部署を代表する委員)

「糖尿病性腎症重症化予防全般」と「重複・多剤服薬について」について、公営のみならず被

用者保険の取組など、広い視点から教えていただきたい。

(東京都担当部署を代表する副部長)

「ヘルスリテラシーの活用について」は、資料5-5で説明した東京都主催の研修テーマと重複しないものとして提案した。講師として、順天堂大学の福田先生をヘルスリテラシーについて豊富な見識があるということで推薦した。

(国民健康保険組合を代表する委員)

「効果的なポピュレーションアプローチ方法について」保健事業について他保険者の取組、好事例などの発表。参考にできるものを講演していただきたいとして挙げた。

(部会長)

最終的なテーマを決めていきたい。被用者保険も国保も両方が同じような形で受講できるもの。意見を頂戴したい。

(健康保険組合を代表する副部長)

「効果的な保健事業を行う必要があること」ということが1つ、受講者の対象が事務職や医療従事者の方が参加されるため、テーマは全体の保健事業に関する方がいい。

竹林先生は、厚生労働省が出しているナッジ理論も書かれているので、今どきのお話を聞けるのではないかと。福田先生はヘルスリテラシーもさまざまな保健事業に全部関わってくると思うので、どちらかがいいと思う。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

多剤服薬は、国保も被用者保険の方も必ずいるのではないかと思い、今後どのように対策していくのかというところに興味があると感じた。

(健康保険協会東京支部を代表する委員)

テーマを絞り込むとすれば、糖尿病性の腎症重症化予防というのもいいと思う。

(健康保険組合を代表する委員)

全保険者共通であれば、ポピュレーションアプローチというのもいいかもしれない。

おもしろいという意味でいけば、ナッジ理論の竹林先生。あとはヘルスリテラシーとか、全保険者に共通するようなものを選んだほうがいいと思う。

(部会長)

今出ているのは、行動経済学、糖尿病重症化予防全般について、ヘルスリテラシーと重複・多剤服薬。この4つになっているが、よろしいか。

予算的の問題というのは、講師にかかる費用が厳しいということか。

(事務局)

予算（講師料等）について説明。

(部会長)

テーマは何にするか。研修会アンケートを見ると、糖尿病関係が圧倒的に多いと感じる。

(健康保険組合を代表する委員)

全体で決めづらいと思うので、受講者のニーズで一番多かった件に焦点を当てて議論したらどうかと思う。

(部会長)

ご意見がなければ、行動経済学・糖尿病性腎症全般・ヘルスリテラシー・重複・多剤服薬・ポピュレーションアプローチの5つ、一番いいと思うものに挙手をお願いしたい。

(賛成者挙手)	糖尿病性腎症全般	7票
	行動経済学	2票
	重複・多剤服薬	1票

保健事業に関する研修会のテーマは、「糖尿病性腎症重症化予防事業の全般について」に決定する。

(事務局)

講師候補3名について説明。

(部会長)

事務局が講師日程調整を行うため、候補順を決めたい。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

佐野先生については、資料5-5で説明した東京都主催の研修会の栄養・食生活分野で、コーチングや保健指導に役立つような内容で実施しており、参加者からの好評を得ている。

(事務局)

東京女子医大の馬場園先生は、東京都の糖尿病医療連携協議会の委員であり、圏域別検討会でのセミナーでは糖尿病性腎症重症化予防に特化して、病気のメカニズムから支援の治療のあり方、保健指導のあり方全般にわたってわかりやすい説明であった。

重症化予防に当たっては、栄養分野も重要な専門職になるので、佐野先生に現場の事務職も簡単にわかるような講義をしていただきたい。

(部会長)

佐野先生と馬場園先生がいいのではないかという意見をいただいた。どちらの先生からアプローチするかを決めたい。

(健康保険組合を代表する委員)

事務局で内容が評価でき、アプローチのしやすい方を決めていただき、事務局一任でよろしいのではないか。

(部会長)

では、事務局で馬場園先生、佐野先生のどちらかをメインとしながら進めていただきたい。

(事務局)

議題(5)「日本健康会議の2019年度における保険者協議会の達成要件(宣言3関係)について」

【資料1】を用いて説明

(部会長)

意見、質問等はあるか。最終的なものは親会議で決まることでよいか。

(事務局)

保険者協議会で承認を得、回答する。

(部会長)

議題 (6) 「その他」事務局から何かあるか。

(事務局)

「東振協（健康フェスティバル）における協賛事業」口頭説明

「共同の取組（促進月間）に関する保険者からの要望への対応について」

【資料7】を用いて説明

(部会長)

以上で本日の議事は全て終了とする。

閉 会